

きいて・めもして・こたえよう

はんかつどう
たてわり班活動の リーダー説明なまえ
名前

きこめあて 活動の「進め方」と、下級生への「心配り」を、分けてメモしましょう。

ことば すず かた かきゅうせい こころば
おとさない言葉：進め方・下級生への心配り

ほうそう
放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) たてわり班活動の進め方で、名前を覚え合ったあと、みんなで何を一つ決めますか。

(2) 下級生への心配りとして、話されていないものはどれですか。○をつけましょう。

ア ゆっくり、やさしい言葉で話す

イ 一年生にもできる係を用意する

ウ 六年生が全部やってあげる

(3) 下級生を「名前と呼ぶ」と、どうなると言っていましたか。

(4) 話し手が考える「リーダー」とは、どのような人ですか。○をつけましょう。

ア みんなを楽しませようと、うら方でささえる人

イ 下級生にいばって指図する人

ウ 何でも一人で決める人

(5) あなたがたてわり班のリーダーなら、下級生のためにどんな工夫をしますか。理由とともに書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする (問題を先に見せない)。
- ② この放送文を先生が読む (または用意した音声流す)。**読む回数：1回**。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

来週から、たてわり班活動が、始まります。今日は、班を、まとめる、六年生の、リーダーの、みなさんに、進め方と、下級生への、心配りについて、説明します。

まず、活動の、進め方です。たてわり班は、一年生から、六年生までが、いっしょに、なった、グループです。はじめに、自己しょうかいで、名前を、覚え合います。つぎに、みんなで、遊びを、一つ、決めます。おにごっこや、だるまさんが、ころんだ、など、全員が、楽しめる、ものを、選びます。最後に、ふり返りを、して、次回の、めあてを、決めます。

つぎに、下級生への、心配りです。三つ、大切な、ことが、あります。一つ目、「ゆっくり、話す」。低学年の、子には、みじかく、やさしい、言葉で、話しかけます。二つ目、「役わりを、わたす」。何でも、六年生が、やるのではなく、一年生にも、できる、係を、用意します。三つ目、「名前で、呼ぶ」。「その子」ではなく、名前で、呼ぶと、下級生は、安心します。

リーダーとは、いばる、人の、ことでは、ありません。いちばん、下級生の、気持ちを、考え、みんなが、楽しめるように、うら方で、ささえる、人の、ことです。むずかしく、感じるかも、しれませんが、こまったら、先生が、そばで、助けます。

この、たてわり班活動を、通して、みなさん自身も、大きく、成長します。一年後、「あの、六年生の、班で、よかった」と、下級生に、思って、もらえる、そんな、リーダーを、目指しましょう。

メモのれい

たてわり班リーダー説明 (進め方・下級生への心配り)

進め方：①自己しょうかいで名前を覚える②みんなで遊びを一つ決める (全員が楽しめる) ③ふり返り→次回のめあて

心配り3つ：①ゆっくりやさしく話す②役わりをわたす (一年生にもできる係) ③名前で呼ぶ (安心する)

リーダー像：いばる人でなく、うら方でささえる人／こまったら先生が助ける

こたえと かいせつ

(1) 遊び (を一つ)

「みんなで、遊びを、一つ、決めます」と言っていました。全員が楽しめるものを選びます。

(2) ウ (六年生が全部やってあげる)

反対に「一年生にもできる係を用意する (役わりをわたす)」が正しい心配りです。

(3) 下級生が安心する

「名前で、呼ぶと、下級生は、安心します」と言っていました。

(4) ア (みんなを楽しませようと、うら方でささえる人)

「いばる人ではなく…うら方で、ささえる、人」と言っていました。

(5) (例) 話すときは目線を下げて、ゆっくり話す。低学年の子が安心して話を聞けると思うから。

工夫と理由が書けていれば正解です。放送の内容を生かしていればさらによいです。